

情報 一般配布

終連報丙第ニ七ニ号  
終連報三部  
時間一七二五〇

支塔野事務官

昭和三十一年七月  
總務課

各受入港受入並送還人数豫報 (第九号)

終鐵連絡中央事務局交通部海運課

昭和三十一年七月十一日調

0793

一、概況

南方方面への配船は其の後も依然然多量たるものあり前号(六月二十日現在)以降僅かに十数隻の配船決定を見たのみであり一方上海方面は七月初旬殆んど終了茲に帰還輸送船船腹は更に過剰を告げ七月五日現在待機船八四隻修繕船五七隻合計実に一四一隻を数へるに至り内リベーター型五隻は七月八日附聯合軍側指令により遂に返船を見ることゝなつた

時恰も滿洲胡芦島邦人集結比較的好調に伴ひ南方向大型船並に従来上海航船の胡芦島へ轉出するもの相当数を數へ七月後半其の輸送力は百七隻一日平均三九八〇人に達する見込であり茲に船舶輸送力が見たる全國一日平均受入数は七月前半上海終了に伴ひ三九五四人を底とし七月後半一九三三四人八月後半一九九七三人と前号豫想に反し一時増加が見越されるに至つた

然るに八月後半は以島其の他の受入を考慮に入れも南方受入は激減が豫想せられ九月以降は結局胡芦島のみを残すこととなり此際其の他の聯地区に新なる事態発生を限り一日一〇〇〇人前後に減少之は全國各受入港受入能力總計一日五四〇〇〇人に比し僅かに一割八分に過ぎず茲

に近き将来受入港中休止状態に置かれるもの更に増加を見るは恐ろ像に  
難くない

(註)

右は單に船舶輸送力の面より見たものであり現美には胡芦島に於  
ける送出力は最高一日一〇〇〇〇人程度と傳へられ従て全國受入人数  
は船舶輸送力を下廻り七月後半八月前半共に一五六、〇〇〇人程度と見  
るに至りである

斯くて今後全國人数の予想は船舶輸送力ではなく結局滿洲邦人の  
胡芦島集積状況如何により決定せられるものであると言ふことが出来る  
今四月後半以降船舶輸送力より見た全五一、〇〇〇平均受入数一目瞭然と  
たゞしあるは左表と掲げらる

0795

次に九州山陽(呉及仙崎)東日本の地域別に見ると



七月後半  
九州 九八八三人  
山陽 三七八三人  
東日本 五、六六八  
計 一九、三三四

八月前半  
九州 二、四〇七人  
山陽 三、〇六六  
東日本 五、五〇〇  
計 一九、九七三

八月後半  
九州 約一、〇〇〇人  
山陽 約三、〇〇〇  
東日本 約五、〇〇〇  
計 約一、八、〇〇〇

0796

右の如く前号(第八号)に比し七月後半九州の増加は大型日本商船胡芦島/佐在保航路開始に依るものであり山陽の増加は胡芦島/仙崎航路の開始し、実の南方方面一括受入等に基づくものである。送還に付ては六月末以降朝鮮に於ける洪水事故の爲一時中止中であつた朝鮮人送還は七月後半より再開又沖繩人の送還が最後の決定ではないが八月一日より鹿児島島より開始され、檣柁である。二各受入港別受入並に送還人数豫想は七月五日現在配船計画より見たる今後各受入港二日平均受入並に送還人数予想は左表の通りであるが第八号以降の顯着事項としては南方列島減少に伴ふ鹿児島島/回辺名古屋浦賀の解散胡芦島/仙崎、七月後半以降大型日本商船より胡芦島/佐在保航路の開始並に胡芦島/舞鶴リバスターの増強朝鮮洪水による六月末以降南朝鮮向配船の一時中止、七月初旬上海の終下ヒルマ直航リバスター十隻、香港比島夫々一度臨時配船其の他リバスター五隻の返航等があり又送還に付ては七月後半朝鮮人送還の再開八月一日以降沖繩人送還の予定等がある。

訂正 第八号概況裏人行目百九五人とあるは一三九五四人の誤記に付  
御訂正願ひたい

各受入港別豫想

鹿兒島	佐世保	博多	港別受入能力
只100人	5,000人	7,500人	七月後半
七月前半胡荻島、サハ、ニ場切收後半には栄豊丸一隻月末受入予定せらるるのみ 一日 一三四人	コシラ船の始末終了までたると伴の大日本商船大勢胡荻島より入港のことはなりマニラ、筑紫丸を併せ 一日 五、六三〇人	主力は胡荻島より他に朝鮮供水復旧の場合には仁川より受入あり 一日 四、二一九人 （釜山はコシラが為め一時使用中止） 送還は該水復旧の場合再行	八月後半
目下の処配船予定なく 一日 一〇〇人 但し八月日より神戶人より送還開始せらるるやも知らず	依然主力は胡荻島より他にミンガポール、百島山丸一隻を併せ 一日 五、五三四人	前記と累々同様但し釜山コシラ終焉し北鮮脱出者増加の場合若干増加し 一日 五、八七三人 朝鮮人送還継続	八月後半及以降
前記と累々同様 一日 〇人	前記と累々同様 一日約五、〇〇〇人	前期と累々同様 一日約五、〇〇〇人 朝鮮人送還継続九月末終了	

0798

舞鶴	田辺	吳	仙崎
2,500人	3,000人	8,000人	5,000人
胡芦島よりリビタイ船 一日 五五〇〇人	目下の処配船予定なく 一日 〇人	主力は三カボル及ビルマ あり他に胡芦島、香港、 西貢と併せ 一日 二、四七八人	主力は胡芦島あり他に朝 鮮、淡水復旧の場合には注文 津、仁川より受入あり 一日 一、三〇五人 送還は朝鮮人送還あり
前記同様 一日 五五、〇〇人 但しリビタイ船も場 に變更せらるるかも知れ 其の場合には減少す	前記同様 一日 〇人	香港、西貢、ビルマ前記場 切にあり若干減少し胡 芦島と併せ 一日 一、六五八三人 但し八月一日より沖繩人 の送還あるかも知れず	前記と異同様なるも釜 山コレラ終止等の場合は 若干増減あり 一日 一、四六四人 朝鮮人送還経
前期累同様 一日 約五、〇〇〇人	前記同様 一日 〇人	南方より受入減少し 胡芦島と併せ 一日 約一、五〇〇人	前記と異同様 一日 約一、五〇〇人 朝鮮人送還経路九月 未終了

0799

總 括	函 館	下内 閣司	唐 津	浦 賀	名 古屋
54,000人	2,500人	2,500人 2,500人	2,500人	5,000人	5,000人
送還 一日 4,000人 受入 一日 1,933人	一時休止	使用時期未定	使用時期未定 他の補助港 的存在	前半上海場切後艦艇一隻 入港予定ありのみ 一日 一六八人	目下の処配船予定なく 一日 0人
送還 一日 4,000人 受入 一日 1,997人 (但し外に津纏人若干 あるものと思われる)				目下り処配船予定なきも 南方方面コレラ流行り場 合入港船ありとも知れず 一日 0人	前記同様 一日 0人
送還 一日 4,000人 受入 一日 約一八〇〇人 (全上)				前記同様 一日 0人	未詳なるも南方よりリバタイ 型若干入港するもの知れず目下 の予定は 一日 0人

0800



各受入港別帰還輸送状況表  
(七月十日現在配船計画に依る)

地方	受入港	引揚港	使用船種	月間航延	月間航延	月間輸送力	一日平均上陸人数	備考	
九州	博多	釜山	商	3	5	15 (3,875)	(129)	釜山コソラの為待機中	
		"	鉄	2	15	30 (48,750)	(1,625)	"	
		仁川	高	7	3	21 (11,355)	(378)	朝鮮洪水の為待機中	
		"	船	1	2	3 (675)	(23)	"	
		胡芦島	高	7	3	21 (22,710)	757	継続	
		"	船	44	2	88 (18,632)	621	"	
	多	青島	Q	26	3	78 70,200	2,340	"	
		Q	1	1	1 900	30	前半受入(臨時一航海)		
	佐賀	佐賀	上海	船	1	1	1 225	8	上自着隔離中
			胡芦島	高	15	3	45 14,400	4980	後半受入開始高月より更に3隻追加予定
"			V	2	3	6 15,000	500	後半受入開始	
シンガポール			高	1	1	1 800	27	入月中旬受入	
マニラ			船	1	1	1 2,250	75	月末受入予定	
計		20		54	167,675	5,590			
鹿児島	鹿児島	胡芦島	商	2	1	2 4,000	133	前半受入終了	
		"	船	1	1	1 2,000	67	後半受入	
		沖繩	船	1	1	1 1,500	50	揚子江佐賀の便更が完了	
		沖繩	高	1	1	1 570	18	待機中	
計		5		5	8,030	268			
合計		116		316	352,802	11,260	釜山コソラの為待機中		
山陽	山陽	釜山	商	3	5	15 (5,375)	(179)	朝鮮洪水のため待機中	
		天津	Q	4	3	12 (5,400)	(180)	"	
		仁川	Q	3	3	9 (4,050)	(135)	"	
		胡芦島	Q	11	3	33 (29,700)	990	天月下旬より受入開始継続	
	計		21		69	44,525	1,484		
山陽	山陽	胡芦島	高	2	2	4 10,680	356	継続	
		"	船	2	2	4 4,308	143	内一度継続	
		香港	"	1	1	1 350	17	中旬受入(臨時一航海)	
		西貢	"	1	1	1 675	23	月末受入	
		盤谷	"	1	1	1 2,910	97	上旬	
		シンガポール	V	13	1	13 32,500	1,083	継続	
		ラニオンモルタン	V	10	1	10 25,000	833	中下旬受入	
計		30		34	76,423	2,552			
合計		51		103	120,948	4,036			
九州山陽		167		415	493,750	15,797			
東日本地区	東日本地区	田辺							
		舞鶴	胡芦島	V	22	3	66 165,000	5,500	継続
		名取							
東日本地区	東日本地区	浦賀	上海	V	7	7	7 17,580	583	中旬受入終了
		盤谷	船	1	1	1 2,525	84	中旬受入	
		計		8		8	20,105	667	

地方	受入港	引揚港	使用船艘	月間航海	延入港数	月間輸送力	一日平均上陸人数	備考
	合計		30		74	185,025	6,167	
全	受入	港總計	197		493	6,58,775	21,964	
未 定	次航	不定151	商 2 V 27 Q 29 艦 26					
修 繕 中			商 1 V 12 Q 11 艦 33					
坐 礁			V 2					

- 註、1.南群引揚船の輸送力は引揚滞散の現状に鑑み定員の二分の一以内  
記入す  
2.西貢並ニガポール向配船の一部は同地に於て聯合軍側指令により更に他地  
へ廻航せしめらる  
3.符号Vはリバティ型QはL、S、T、商は日本商船、艦は日本艦艇、鉄は鉄  
道連絡船を示す。

七月 配船並受入図  
八月

0803

